

工学研究科博士前期課程学位論文審査及び最終試験に関する評価基準について

令和2年1月8日制定

1. 学位論文が満たすべき水準

- (1) 課題分野に関する高度な知識・技術を踏まえた内容であること。
- (2) 課題に対し、自ら明確な問題意識とそれに関する明確な研究の意義と必要性が述べられおり、その問題を俯瞰的かつ多面的に捉えて整理・分析しながら解決していること。
- (3) 当該分野の先行研究・資料を、国際的な観点から収集・分析し、それを踏まえて自らの研究の位置づけが明確に示されていること。
- (4) 学術的に一定の新規性または独創性があり、科学技術の発展に寄与する研究であること。

2. 審査委員の体制

主査1名，副査2名以上により評価を行う。

3. 審査の方法

主査1名及び副査2名以上の合計3名以上が，論文審査と論文発表会における発表および質疑応答などによる最終試験を行う。この結果より，優，良，可，不可の評価を行う。

4. 審査項目

- (1) 高度な知識・技術を踏まえた内容である。
- (2) 課題設定，研究の意義が明確に述べられており，その問題を俯瞰的かつ多面的にとらえ整理・分析している。
- (3) 先行研究に対し，研究の位置づけがはっきり示されている。
- (4) 新規性・独創性が示されている。
- (5) 論文構成・文章表現・資料の取り扱いが適切である。
- (6) 発表，質疑応答が適切になされている。